# 標準共通キット

## 取扱説明書

**K-VCH65K**
**K-VCH75K**



ご使用前に必ずお読みください
身近なところに大切に保管してください

# ●はじめに

この取扱説明書に記載以外の項目については本機の取扱説明書をご覧ください。

組付要領については，キット品に同梱してあります。よくお読みいただき，安全に組付作業をしてください。

本キットは，大豆，そば，なたねに共通するキット品です。作物別に別売キットが必要になります。

| 商　品 | 型式 ＼ 作物 | 大　豆 | | 小径大豆 | | そば・なたね | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 標準共通キット | K－VCH65K | | ● | | ● | | ● |
| 標準共通キット | K－VCH75K | ● | | ● | | ● | |
| 大豆専用キット | K－VCH65B1 | ● | ● | | | | |
| 小径大豆専用キット | K－VCH65B2 | | | ● | ● | | |
| そば・なたねキット | K－VCH65SN | | | | | ● | ● |

# も　く　じ


**作物別調整表**……1

**刈取りできる作物とほ場の条件について**……2

**1．大豆の場合**…… 2

1．作物の条件…… 2

2．ほ場の条件…… 2

3．作付・栽培管理…… 3

4．収穫時期（時間帯）…… 4

5．大豆の汚粒発生の原因…… 5

6．品質低下につながる原因…… 5

**2．そばの場合（別売キットが必要です。）**…… 6

1．収穫時期 …… 6

**刈取作業のしかた**……7

**1．作物に合わせた収穫作業のポイント**…… 7

1．大豆作業の場合…… 7

2．そば作業の場合（別売キットが必要です。）…… 8

# 作物別調整表

| | 大豆 | そば | なたね |
|---|---|---|---|
| ロータ回転数 | 低速（310rpm） | 低速（310rpm） | 低速（310rpm） |
| ロータ拡散板 | 開 | 閉 | 閉 |
| トウミファン回転数 | 900rpm（内側ライナ２枚） | 900rpm（内側ライナ２枚） | 850rpm（内側ライナ１枚） |
| 送じんガイド角度 | 7 | 8 | 8 |
| チャフシーブ開度 | 7 | 4 | 3 |
| 揺動グレンシーブ | パンチングφ12 | パンチングφ9 | パンチングφ9 |
| 受網 | 格子網 | 格子網 | 前：クリンプ25P　後：格子網 |
| 一番底板掃除フタ | スリット有り | スリット無し | スリット無し |
| 二番底板掃除フタ | スリット有り | スリット無し | スリット無し |
| 一番タッチ部掃除フタ | スリット有り | スリット無し | スリット無し |
| 二番タッチ部掃除フタ | スリット有り | スリット無し | スリット無し |
| グレンタンク底板掃除フタ | スリット有り | スリット無し | スリット無し |
| 排出縦パイプフタ | スリット有り | スリット無し | スリット無し |
| プラットホームオーガと底板のすき間 | 12～15 | 6～8 | 6～8 |
| プラットホームオーガ回転数 | 182rpmまたは141rpm(スプロケット歯数49)※ | 182rpm | 182rpm |
| フィーダハウス底板 | スリット有り | スリット無し | スリット無し |
| プラットホーム底板 | スリット有り | スリット無し | スリット無し |
| ビーンスラット | 有※ | 無 | 無 |
| 刈刃 | ３インチまたは２インチ※ | ３インチ | ３インチ |
| フロートセンサ（750型のみ） | 収納 | 収納 | 収納 |
| 延長フィン開度 | 中間 | 閉 | ー |

[注意]

・上表は調整の目安です。実際の刈り取り条件に合わせて微調整を行ってください。

・大豆，そば，なたねの収穫には専用キットが必要になります，その場合には標準共通キットの取扱説明書を参照してください。

・２番還元位置については，作物の損傷粒が多い場合，ビール麦，大麦など発芽率を高めたい場合には２番還元を揺動還元にします。（本機取扱説明書37ページ参照）

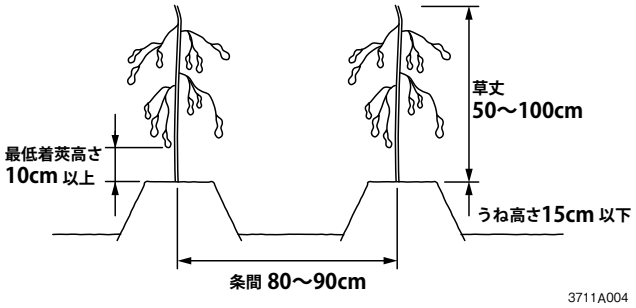
・※は別売キット品です。

# 刈取りできる作物とほ場の条件について

## 1．大豆の場合

### 1．作物の条件

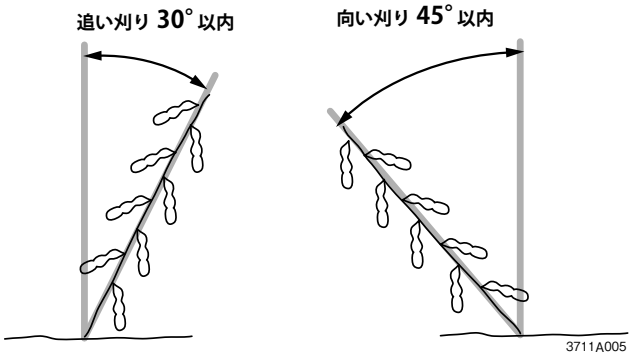
❶ 大豆の刈取適応長さは50～100㎝です。




❷ 刈取可能な作物の倒れた角度（倒伏角）は，

**向い刈り……倒伏角45°までです。**

**追い刈り……倒伏角30°までです。**




❸ 雨中や雨上がり直後，朝つゆ・夜つゆのあるときは，作業しないでください。

**子実水分……13～18%**

**（13～15%が望ましい）**

**茎稈水分……60%以下**

**（40%以下が望ましい）**

**取扱いのポイント**

**●刈取り適期は，慣行よりも１週間程度遅くしてください。落葉後７～10日後が収穫のめどです。水分の多い場合は，汚粒・損傷粒の原因になります。**

### 2．ほ場の条件

大豆は，湿害に弱いのでうねを立てるか，明きょなどで排水をよくする必要があります。しかし，うねの高さや幅によっては，コンバインで作業がしづらい場合があります。

能率よく刈取作業を行うためには，うねの高さ・幅・作物条間をコンバインに合わせて作付してください。




**取扱いのポイント**

**●本機の傾きは，土の混入，刈り残しにつながります。本機が水平になるようにヘッダ部ではなく，クローラがうねに対称になるように，走行位置を合わせてください。**

〈機体が傾かないようにするためには…〉

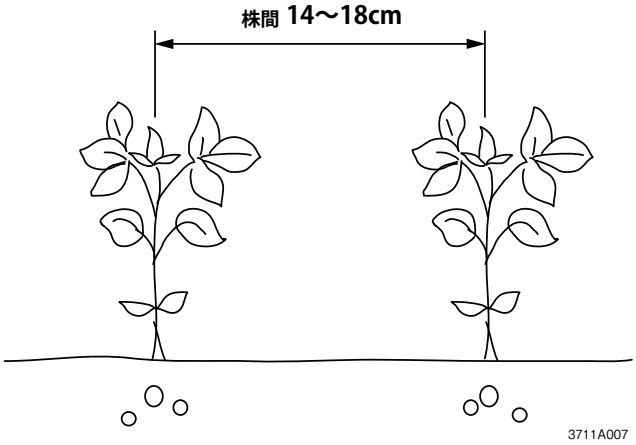
●条間……80～90cm

●うね高さ…15cm以下

〈最下着莢位置を高くするためには…〉

●播種株間…14～18cm

●種子量……２～３粒の点播




〈トラブルを防ぐためには…〉

●雑草が多い場合……汚粒や機械のトラブル発生

●石などが多い場合…刈刃，チョッパスプレッダの刃の損傷や脱こく部の破損発生

●稈が青い場合・最下着莢位置が10cm以下の場合……土・青汁などによる汚粒の発生

## 3．作付・栽培管理

コンバインでの刈取作業では，下記の条件の品種が適していますが，品種の選定は，各都道府県の指導機関の指導に従ってください。

〈耐倒伏性が高いもの〉

倒伏すると，減収したり刈取り方向や作業速度が限定され能率が低下します。さらに，泥のかみ込みなどにより，汚粒が発生し品質も低下してしまいます。




〈耐裂莢性が高いもの〉

裂莢しやすいと，リールタインが作物に当たったときや機体ステップなどに稈が接触したとき，裂莢して豆がほ場に落ちて，刈取りロスが増えます。（例：エンレイ）

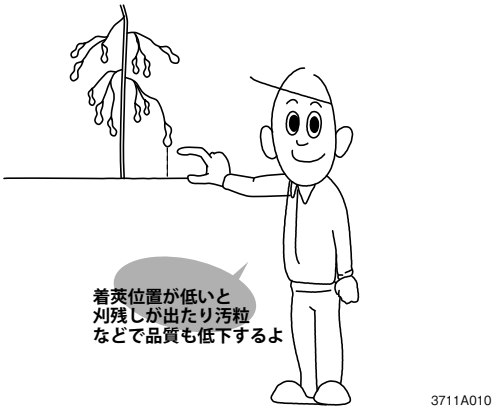


〈着莢位置が高いもの〉

着莢位置が低いと，刈り残しが出たり，低刈りするために泥のかみ込みなどにより，汚粒が発生し品質も低下してしまいます。

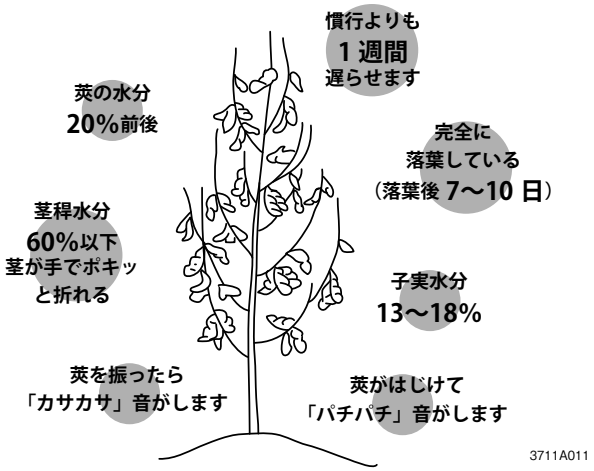
［参考］

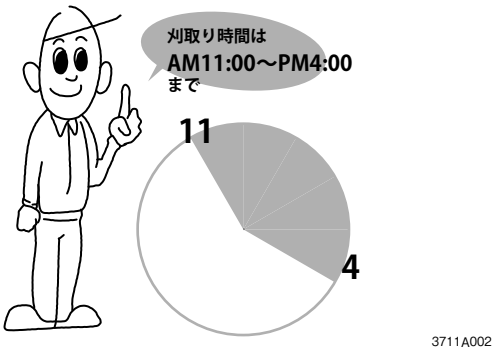
●最下着莢位置を高くするためには，種子量２～３粒を株間14～18㎝に点播するのが適当です。




## 4．収穫時期（時間帯）

大豆の収穫は，水分が重要なポイントになります。コンバインでの収穫作業をロスなく能率的に行うためには，莢の水分と子実水分，さらに茎稈水分がポイントです。大豆の水分は，１日の中でも大きく変化しますので，収穫に適する時間内に作業を行うようにしてください。



## 5．大豆の汚粒発生の原因

〈発生原因〉

- １操作技術的要因
  - 整備不良
  - 基本的操作ミス
  - 作業条件・収穫時期
- ２栽培技術的要因
  - 不適切な培土
  - 不適切な栽植条件
  - 石れき除去，雑草防除の不徹底
  - 生育の不斉一
  - 病虫害防除の不徹底
- ３品種的要因
  - 裂莢性
  - 倒伏性
  - 最下着莢位置
  - 粒径

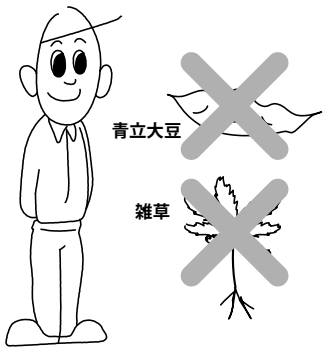
コンバインでの収穫作業の汚粒発生には，上記の３大要因が複合して影響しています。したがって，汚粒の発生を防ぐには，これらすべてを取り除く必要があり，栽培体系全体を見直さなくてはなりません。品種の選定・栽培技術については，各地域の指導機関との十分な協議をお願いしますが，メーカー側からお願いしたい取扱い方法は，本章の内容を熟読してご理解いただきたいと思います。

## 6．品質低下につながる原因

下記の項目が，品質の低下につながる原因です。

〈雑草や青立大豆が残っている〉

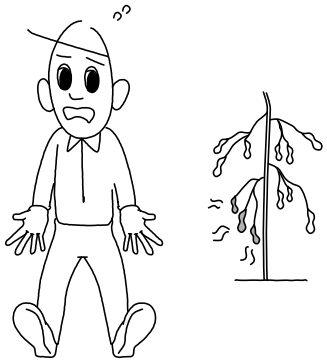
雑草や青立大豆が残っていると，汚粒の原因になり，品質低下につながりますので，作業前に必ず取り除いてください。




3711A013

〈倒伏や下部腐敗莢がある〉

倒伏や下部腐敗莢があると，刈取作業がやりにくく，能率低下や刈取りロス，さらに汚粒の原因にもなり，品質低下につながります。

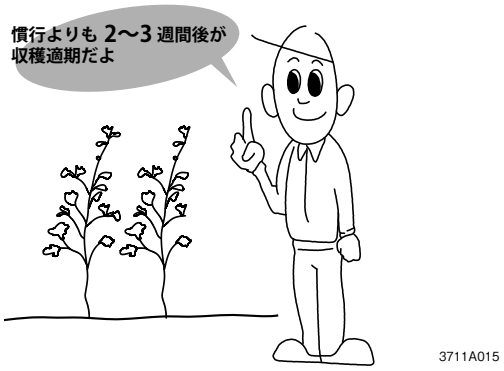


3711A014

# 2．そばの場合
# （別売キットが必要です。）

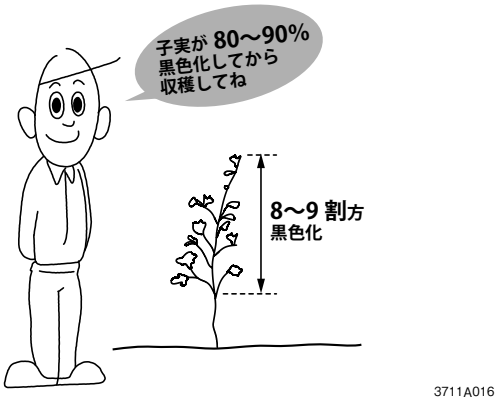
## 1．収穫時期

❶　天候条件にもよりますが，慣行よりも２～３週間後が収穫時期です。




3711A015

❷　子実が80～90％黒色化してから収穫してください。




3711A016

# 刈取作業のしかた

## 1. 作物に合わせた収穫作業のポイント

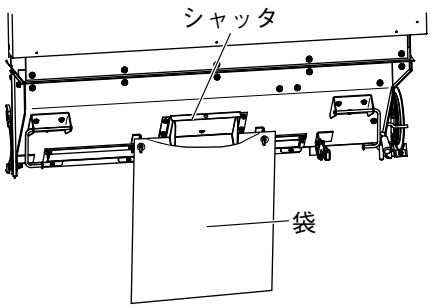
### 1. 大豆作業の場合

❶ 10m程度刈取作業を行い，グレンタンクシャッタ部より収穫した大豆に汚れがないか確認してください。(本機取説49ページ参照)

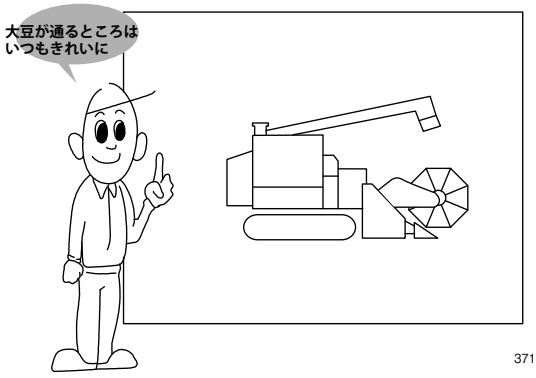
作業の途中に，大豆を排出したときは，その都度汚粒の確認をしてください。

**取扱いのポイント**

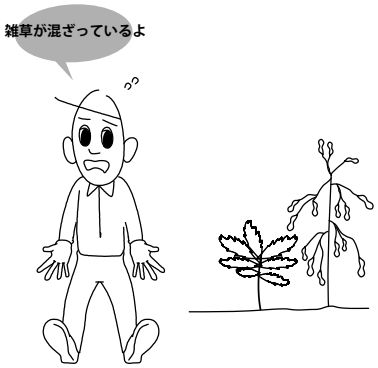
- **グレンタンクのシャッタを開けて，大豆を取り出すときは，必ずエンジンを停止して行ってください。**
- **作業中は，必ずグレンタンクのシャッタを閉じカバーを取付けてください。**



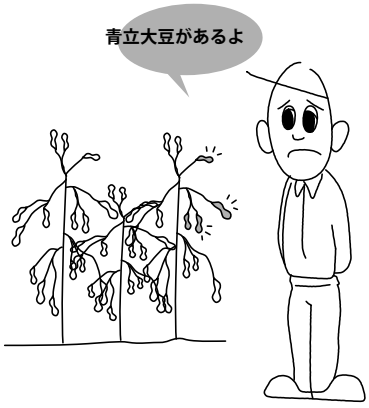

3711A003




3711A019




3711A020



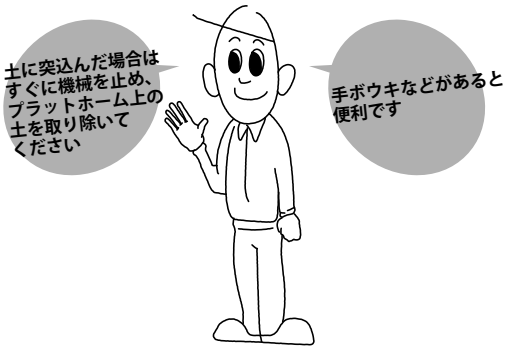

3711A021

❷ 汚粒がある場合は，大豆を全て取り出して，きれいな大豆と一緒に混ぜないでください。品質低下につながります。



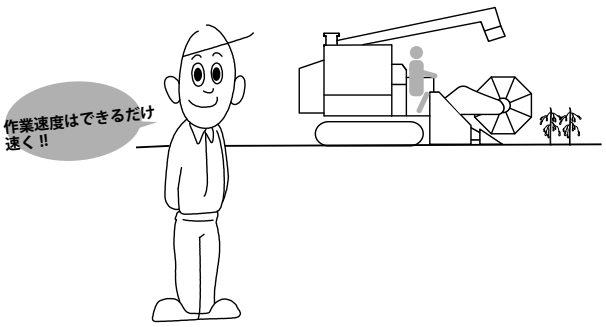

3711A022

❸ 走行位置は，本機が傾き，土に突っ込まないように両方のクローラがなるべく同じ位置を通るようにしてください。




3711A023

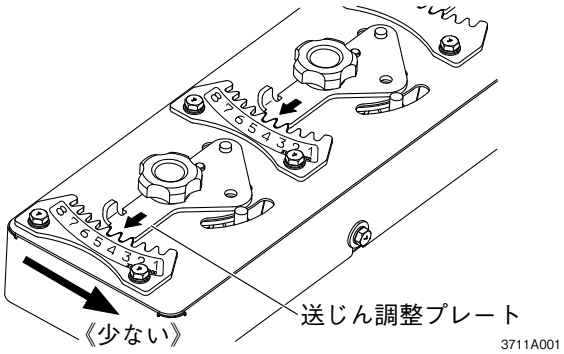
❹　作業速度は，ヘッドロスおよび未脱粒を少なくするために，できるだけ速くしてください。




3711A024

❺　**送じん調整プレート**

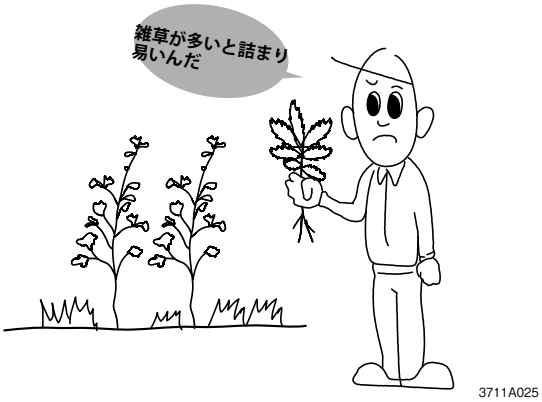
大豆の場合は，送じん調整プレートを「**7**」にセットし，刈取をはじめてください。この位置で未脱粒や莢に豆が入ったままのものが多い場合は，《**少ない**》の方向へ調節してください。




3711A001

## 2．そば作業の場合（別売キットが必要です。）

❶　雑草が多い場合や慣行時期刈取りは，チャフシーブ・グレンシーブ・２番スラットコンベア還元部などに詰まりやすいので注意してください。また，刈高さを高くしたほうが雑草の混入が少なくなります。

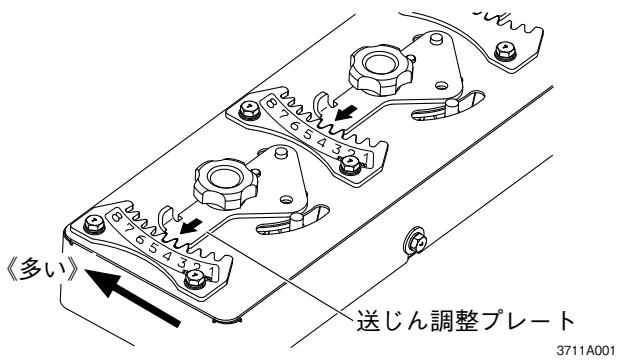



3711A025

❷　送じん調整プレートを《**多い**》側いっぱいにして作業を開始し，徐々に《**少ない**》側に調節してください。茎を長いまま排出する程度にしてください。




3711A026




3711A001

No.031602-37118004002